

カントリー音楽 南阿蘇村で祭典

ビリー市田さん初出演

「第23回カントリーゴールド」が16日、南阿蘇村の県野外劇場・アスペクタで開かれ、全国から訪れたファンが国内最大のカントリー音楽の祭典を楽しんだ。熊本市のカントリー歌手で、バンド「キャノンボール」を率いるチャーリー永谷さんが、1989年以来



「ジャンクシオン87」のリーダーとして熱唱するビリー市田さん

毎年10月、本場・米国から一流の歌手やバンドを招き開いてきた。

今回、在米日本人としてはまれなカントリーバンドのリーダーを務めるビリー市田さん(60)(神戸市出身)が、仲間の2人と共に「ジャンクシオン87」として初出演。ビリーさんがカントリーの弦楽器「フィドル」を熱演すると、音楽に合わせて踊り出すファンも。会場では、熊本市出身の母親市田恭子さん(84)も聴き入り、演奏後、ビリーさんは「阿蘇で演奏できて最高です」と語った。この日は他の米国人歌手らを含め、約80曲が演奏された。

東日本大震災被災者支援も目的で、チャーリーさんは9月、仙台市などを訪問し、昨年まで阿蘇を訪れていたファンらのために演奏で激励。会場にも募金箱を置き協力を呼びかけた。